



# NBRP-nenkin news\_No. 12

2019/9/21

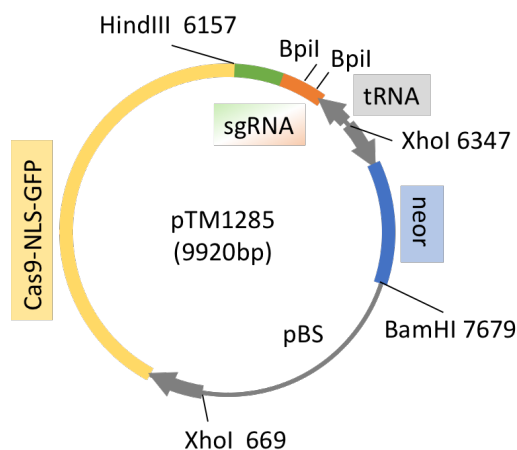
発行：NBRP細胞性粘菌

## Top news

**東邦大学 村本哲哉博士から寄託されたCRISPR/CasのベクターDNAの利用が進んでいます!**

2018年に寄託された細胞性粘菌のCRISPR/Casベクターが世界中で利用されています。理化学研究所・上村も使いましたが簡単に変異を導入できます。国内で開発された技術をどんどん利用していきましょう。

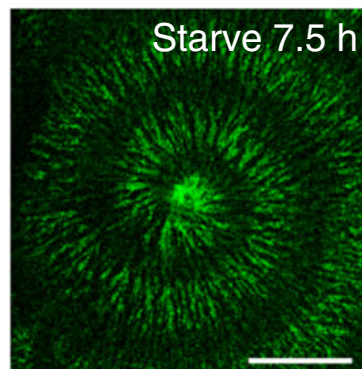
Reference: *Scientific Reports* (2018) 8:8471



**大阪大学 上田昌宏研究室からcAMPリポーターのFlamindo2が寄託されました!**

上田研究室の森本雄祐博士（現、九州工業大学）と橋村秀典博士（現、東京大学）から細胞性粘菌に最適化した生細胞観察用cAMPプローブ、Flamindo2が寄託されました。大変明るく、高感度にcAMPの動態を検出できます。ベクターDNAに加え、発現細胞もあります。是非ご利用ください。

Reference: *Communications Biology* (2019) 2:34



栄養飢餓の細胞性粘菌は周期的にcAMPを合成しらせん状の波として伝わる。Flamindo2発現細胞（S90789）はcAMPの存在下で蛍光が消光する。

**Dicty Stock Center (DSC)からの代行取り寄せを再開します!**

DSCから必要なリソースをご連絡ください。NBRPで取り寄せ、品質チェックをした後、分譲いたします。

## Resource updates

株リソース、遺伝子リソース共に、NBRP細胞性粘菌ホームページを通じてオーダーできます!

<http://nenkin.nbrp.jp>

皆様の研究室で開発された株、遺伝子リソースの寄託を受け付けています。一度、NBRP-nenkinに寄託していただければ、当方で保存や利用希望者への分与を行います。是非、皆様の貴重なリソースをコミュニティーで共有し、研究に役立てましょう。また、「収集して欲しいリソース」を皆様から募集しています。どんどん、下記のメールまでご連絡ください。

[nbrpnenkin@shigen.info](mailto:nbrpnenkin@shigen.info)

### 第9回細胞性粘菌トレーニングコース開催

本年も、NBRP-nenkinでは、細胞性粘菌の初心者向けトレーニングコースを開催します。実施要項は以下の通りです。

**日程**：2019年11月9日（土）      **開催場所**：筑波大学・第2エリア地区内

**申し込み締め切り**：2019年10月25日（金）

**応募・問い合わせ先**：筑波大学生命環境系 桑山 秀一

**TEL**：029-853-4910      **e-mail**: nbrpnenkin@shigen.info

応募方法など詳しくはこちらのURLをごらんください。 <http://nenkin.nbrp.jp>

引き続きオンデマンドコースも開催中です。ここでは、皆様の都合のつく日時にNBRP細胞性粘菌中核機関（筑波大学）に来ていただき、必要な研究手法のトレーニングを致します。ご希望の方は、所属、氏名、連絡先（メールアドレス）、希望される日時とトレーニング（実験）内容をご記入の上、上記のメールアドレスまでご連絡ください。

### NBRP第4期中間評価

2019年8月8日

第4期NBRP事業が2017年度に開始し、今年度は早くも中間評価が実施されました。7月に報告書を提出し、8月にはヒアリングを受けました。2018年度に東邦大学、村本博士から寄託を受けたCRISPR/Cas9ベクターが好調で、特に海外への提供が多く国際的な貢献に繋がった点は高く評価されました。但し、細胞リソースの提供が低調である点を今後の課題として指摘されました。この対策には皆さんが必要とするリソースを収集していくことが重要です。どのようなリソースが必要か、要望をお寄せ下さい。また、皆さんが開発されたリソースをNBRPにご寄託下さい。貴重なリソースを世界的な利用に繋がりたいと思います。是非ご協力宜しくお願い致します。

### NBRP基盤技術整備プログラム・NBRPゲノム情報等整備プログラム

毎年度NBRPに採択されたバイオリソース（もちろん細胞性粘菌も含まれています）に関する上記の公募があります。基盤技術整備プログラムは、バイオリソースの収集、増殖、品質管理、保存、提供等に係る技術開発を目的とするものです。また、ゲノム情報等整備プログラムは、バイオリソースに関する付加価値を高め、我が国のバイオリソースの独自性・先導性を高めることを目的としたバイオリソースのゲノム配列や遺伝子情報を解析するためのものです。これまでの採択課題はNBRPのホームページ（<https://nbrp.jp>）に掲載されています。もし、皆さんの研究と関連するテーマがありましたら、是非挑戦してみてください。去年度は12月頃にAMEDから公募要領が発表されました。公募情報は細胞性粘菌学会のメーリングアドレス等で案内したいと思います。

### 第42回日本分子生物学会年会（展示予定）

2019年12月3日～12月6日 福岡国際会議場・マリンメッセ福岡

今年もNBRP主催の特別企画「NBRP実物つきパネル展示」が開催されます。NBRP細胞性粘菌も出展予定です。是非、お立ち寄りください。また、ポスター発表の際には「細胞性粘菌の展示ブース」について宣伝をよろしく願います。

### 第4期NBRP中間年度成果報告シンポジウム（第42回日本分子生物学会年会内開催予定）

2019年12月5日（15:45～19:00） マリンメッセ福岡：3Fサブアリーナ

表題のシンポジウムが分子生物学会中に開催されます。ニホンザル、ツメガエル、酵母、アサガオ、情報等のユーザーによる講演が企画されていますので、是非、ご参加ください。